

# たつのまち の議会だより

No.59  
2015年11月1日

## 9月定例会 26年度決算を認定 安保法制廃案意見書を採択

### 今号の記事

- ◎9月定例会      ◎一般質問    13名
- ◎第8回議会報告会の案内
- ◎町民の声      ◎議員視察研修



# 9月定例会

## 町提案24議案と 議員発議3議案を可決

9月定例会は去る1日に開会し、平成26年度一般会計決算等24議案が提出されました。

このうち、平成27年度特別会計補正予算4件、町道路線認定・変更各1件、人事案件1件（町教育委員1名の選任同意）について可決しました。

また、平成27年度一般会計補正予算（第4号）を自宅審査とし、平成26年度一般会計決算・特別会計決算13件と条例の一部改正2件及び「辰野病院事業会計資本金の減少について」の議案を、各常任委員会に付託しました。さらに、平成26年度財政指標等の報告、他1件の報告を受けました。

また、平成27年度一般会計補正予算（第4号）を可決しました。また、自宅審査に付された平成27年度一般会計補正予算（第4号）を可決しました。

最終日の17日には、両委員会に付託された各会計決算・条例等について、委員長の審査報告があり、いずれも報告

の通り認定・可決しました。また、自宅審査に付された平成27年度一般会計補正予算（第4号）を可決しました。

また、平成27年度一般会計補正予算（第4号）を自宅審査とし、平成26年度一般会計決算・特別会計決算13件と条例の一部改正2件及び「辰野病院事業会計資本金の減少について」の議案を、各常任委員会に付託しました。さらに、平成26年度財政指標等の報告、他1件の報告を受けました。

また、議会規則の一部改正1件、国への意見書提出2件の議員による議案提出があり、いずれも可決しました。

最終日の17日には、両委員会に付託された各会計決算・条例等について、委員長の審査報告があり、いずれも報告

以上、提案された議案すべてを原案通り可決し、9月定例会（会期17日）は閉会しました。

### 各会計補正予算の主な内容

平成27年度一般会計補正予算（第4号）

- ・ふるさと寄付金の1千万円の歳入増額と寄付金謝礼6百万円の歳出増額
- ・個人番号制度のためのネットワーク機器設定変更委託
- ・上平出介護予防センター備

平成27年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

- ・過年度事業確定に伴う療養給付費交付金償還金他
- ・平成27年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・過年度事業確定に伴う国庫支出金返還金

### 品購入

- ・一ノ瀬簡水布設替えに伴う建設改良補助金
- ・宮所県単緊急農地防災事業負担金

- ・町道2294号改良工事
- ・泉水団地排水マス改修工事
- ・荒神山団地水路改修工事
- ・消防団員安全装備品購入
- ・町民会館屋上防水シート改修工事
- ・西小資材倉庫建替え
- ・南小体育館校舎改修工事

- ・計委託とこれに伴う辰中普通・特別教室棟長寿命化設計委託の実施先送り
- ・平成27年度農業集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）

- ・沢底地区水処理施設汚泥水量計修繕
- ・平成27年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

### 陳情に対する

#### 委員長報告への討論(要旨)

#### 【反対・成瀬】

安全保障環境が厳しさを増す中、隙間のない安保体制の整備によって紛争を未然に防止する抑止力を強化し、対話・外交による解決を促すもの。憲法第9条の解釈は何も変えていない。自衛隊は戦争に参加することはなく、戦争に巻き込まれることはない。

#### 【賛成・向山】

政府が一方的な憲法解釈の変更により集団的自衛権の容認をし、これを確立しようとしているが、内容が曖昧で、防衛の基本とするには大変お粗末。中国や朝鮮半島の問題は個別的自衛権の問題である。

る。国民世論の多くは審議が不十分、憲法違反としている。

#### 【反対・小澤】

周辺国の軍備増強、領空・領海侵犯の多発等、安全保障環境におけるリスクが高まっている。日本の安全と平和を我が国一國だけで守るのは困難な状況。あくまで我が国を防衛するための武力の行使に限られており、他国に脅威を与える戦争法案ではない。

#### 【賛成・宇治】

元最高裁長官、内閣法制局長官OBが違憲としている。中味は曖昧のまま、形式的な時間だけで採決を決めた。集団的自衛権行使の容認の必要性・妥当性、自衛隊のリスク、海外法人や赴任者へのテロ行為の脅威拡大等、法案への疑問が数多く残されたままである。

#### 採択された意見書

- ・安全保障関連法案の廃案を求める意見書
- ・国民健康保険国庫負担金の調整（減額）措置の廃止を求める意見書

### 陳情に対する採決の結果

安全保障関連法案の廃案を求める意見書	
提出者	「戦争をする国」STOP！辰野町の会
委員会審査結果	採択
委員長報告への賛否	賛成多数
賛否の内訳	
賛成	岩田・根橋・向山・山寺・瀬戸・宇治・熊谷・垣内
反対	中谷・篠平・小澤・堀内・成瀬

委員会審査から

# 総務産業 常任委員会

- 決算審査
- 陳情審査
- 条例審査
- 現場審査



たつの海工事現場審査

## 一般会計決算審査

9月10・11日全委員出席のもと、平成26年度一般会計決算の歳入全部と歳出の内、議会費、総務費、衛生費の内水道費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費について審査し、全議案を全員一致で認定すべきとしました。

## 歳入

平成26年度一般会計歳入総額は、92億6千万円で前年に比べ5.4%の増加です。しかしながら町税は、前年に比べ6,600万円2.6%の減少でした。町税収入の落ち込みが、今後の大きな課題です。

## 歳出

### ■議会費

議会費は、前年比35.8万円の増額となっています。

### ■総務費

総務費は、前年比370万円の減額となっています。

併護士謝礼が増えているがその理由はなにか。

26年度は、高德寺の町指定文化財の倒壊があり、その分が増加した。

パークホテルの修繕要望は何か。

エアコン修理の要望が出され、27年度で対応した。今後下水道への接続が課題である。

新町発足60周年記念事業の企画に関して、内容は良かったが、参加者が少なかった。

関係者だけの祭典にしない方針であったが、結果的には町民の参加が少なかったのが残念であった。今後に向けては、企画内容、周知方法を工夫したい。

町の功績者表彰について表彰対象、活動の期間などを見直す考えはないか。

今後は、幅広い分野から選定していきたい。議員や団体には感謝状を贈呈するよう見直したい。

防災事業に関して、防災士を9名認証登録したとのことであるが、今後の計画はどうか。

引き続き分団長経験者を中心に受講を薦めて行きたい。

選挙事務に関して、投票所の増設に向けて立会人等が増員する場合、費用負担はどのようになるか。

そのようになれば県、国関係の選挙費用は県、国から交付される。

文書管理に関して、機密書類の処分は、どの様にやっているか。

1年に3回業者に委託して、大型シュレッダーにかけている。職員立会いの下に実施している。

公共交通事業に関して、利用者が支払ったタクシード金の収受はどようになってるか。

タクシー会社で収受し、委託料と相殺で清算している。

衛生費のうちの水道費

前年比1,138万円の減額です。これは、他会計への繰出し金の減額によるものです。

農林水産費

前年比5,905万円の減額です。

かやぶきの館委託事業に関して、26年度はいくら増額したか。

26年度から1千万円増額し1,950万円の委託料となり、5年契約で委託している。冬場の利用客が少ないのが課題。来年の御柱祭に向け

を誘客を図りたい。

林業振興に関して、木材の有効利用に向けて間伐材等の搬出機械の整備が必要であるが実態はどうか。

森林整備計画を策定し、羽場、北大出などで間伐材の搬出機械の整備を検討している。

商工費

前年度比4,149万円の増額でした。

ほたる童謡公園管理事業

ほたる童謡公園管理事業について、近年ほたる発生数が減少し、観望客も減少している。この原因と今後の対策は。

天候不順が大きく影響していると考えられ、植栽調査を実施した。今後水路整備等を実施したい。

ほたる育成協力金の使途について、単年度事業に支出するのでなく基金として積み立て、増殖に必要な事業に当てるべきだ。

町予算が厳しいなか、整備事業に当てざるを得ない。

町予算が厳しいなか、整備事業に当てざるを得ない。

**問** プレミアム商品券発行事業について、70才以上の方々などが買やすいよう工夫すべきである。

**答** 今後検討する。

■土木費

**問** 前年度比1億862万円の増額でした。本年度は土地開発公社補助金1億円がありました。

**答** 道路照明のLED化の進捗状況と今後の計画は。

**問** 計画はないが、新たに設置する場合と電球更新の際は、LEDに変える。

**答** 橋梁修繕計画について、町が管理する橋梁の数と劣化の状態は。

**問** 管理する橋梁は、283橋あり、レベル1から4の内4に該当する橋梁はない。5年に1度の点検が必要である。

**答** 都市計画事業に関して、都市計画審議会を毎年開催していない理由と駅前計画などの今後の取り組みは。

**問** 具体的な検討事項がない場合は開催していない。今後

の取り組みについては、それぞれ難しい課題であるので慎重に進めたい。

**問** 町営住宅管理事業に関して、老朽化した住宅は今後どうするのか。

**答** 基本的に取り壊しを考えている。入居者がいる住宅については、退去した時点で空き室としている。

■消防費

**問** 前年度比9,068万円の増額です。伊那消防組合本部負担金が7,477万円増額です。

■災害復旧費

**問** 前年度比1,789万円の増額です。準用河川沢底河子沢の公共土木施設災害復旧工事費などがありました。

■公債費

**問** 前年度比3,015万円の増額でした。

●特別会計決算審査

■上水道事業会計

**問** 収益的収支の収入総額4億254万円で、前年度比9,702万円の増収です。これは小野簡易水道統合による給水収益及び起債償還に対する町負担金の増額などによるものです。

**問** 上水道事業会計における人件費負担割合の根拠はなにか。

**答** 月10万円で12カ月分として120万円の決算となっている。

■簡易水道特別会計

**問** 8簡易水道の歳入総額は1,222万円、歳出総額は1,067万円です。

**問** 簡易水道会計は厳しいが、今後の事業のあり方についてどのように考えているか。

**答** 上水道との統合を考えているが、困難な簡水もある。

■公共下水道特別会計

**問** 歳出は前年度比3,864

万円の増額でした。

**問** 起債償還について、何年まで償還するのか。

**答** 平成50年3月が最終。

**問** 資本費平準化債とはどのような内容か。

**答** 30年で償還するところを40年に繰り延べするための財源である。



公共下水道水処理センター

■特定環境保全

**問** 公共下水道特別会計歳出は、前年度比1,404万円の増額でした。

**問** 移動脱水車の処理の現状と今後の対応は。

**答** 伊那市、南箕輪村との共同事業であるが、南箕輪村が脱退し18年経過しているので、移動脱水車は廃止し、脱水設備を27年度に設計、28・29年度工事で30年度から運用したい。

■農業集落

**問** 排水処理施設特別会計歳出は、前年度比447万円の増額でした。

**問** 公共下水道へ統合する考えはないか。統合への地元合意形成をどのように進めるか。

**答** 平成22年度から5年計画で進めている。平成32年度統合を目安として、沢底、北部は準備している。料金の違いをどのように乗り越えるかが課題。

■地域情報

告知システム特別会計

**問** 歳出は、257万円の増額でした。

**問** 加入者の動向はどうか。

**答** 加入者数は、横ばいである。

**問** 防災無線の難聴地域世帯や転入者に機器を無料で配付する考えはないか。

**答** 転入者や見守り世帯へは無料で配付しているが、料金は原則有料なので伸び悩んでいる。以上総務産業常任委員会に

付託された特別会計決算6議案は、全員賛成で認定すべきと決しました。

### 条例審査

■辰野町個人情報保護条例の一部を改正する条例

個人番号法の施行に伴い、特定個人情報取り扱いについて、一部改正するものです。

■全国共通のモデル条例があり、それに基づいている。

特定個人情報、情報提供等記録、特定個人情報ファイルとは、具体的にはどのような内容か。

■辰野町手数料条例の一部を改正する条例

個人番号制度導入に伴い、番号通知カード及び個人番号カードの再発行の手数料を定めるために、一部を改正するものです。

町民への周知をどのような方法で行うのか。

広報たつの、窓口でリーフレットの配布、ほたるチャネル等を考えている。

以上2条例について、採決の結果、全員賛成で可決すべきと決しました。

### 陳情審査

安全保障関連法案の廃案を求める意見書提出の陳情

賛成意見①違憲と言っている学者が多い。元最高裁判官も違憲と言っている。②徴兵制はないと言っているが時の政権の判断によるところになる。③国会審議の状況は、隙間だらけ。④集団的自衛権があるリスクとないリスクを比較すると、ある場合のリスクの方が高い。⑤中国との尖閣

諸島問題などは、個別的自衛権で解決できる。

反対意見①時間をかけ慎重な議論を求め、その状況を見守りたい。

以上のように委員全員が意見を表明し、採決の結果賛成5、反対1で採択され、意見書提出に決しました。

### 町長への要望事項

ホタルの増殖及び観望客の増加対策について

ほたる童謡公園でのホタル発生数が、近年減少傾向となつてきている。また観望客も減少傾向となつてきている。早急に科学的な調査研究を行い、発



ほたる童謡公園の水路

生数を増加させる有効な対策に取り組むことを要望する。

観望客の増加対策についても、関連情報を収集し、新たな増加対策に取り組むことを要望する。

■答弁 ホタル発生数、観望客数がともに減少傾向であり、これには複雑な要因が絡み合っているという思いは同感である。発生数と観望客の増加について一層の研究を進めたい。

### 決算に関する現場審査

9月14日、昨年度予算執行された次の5事業の現場審査を行いました。

- ① 消防庁舎改修工事
  - ② 防災情報ステーション等整備事業
  - ③ 観光地トイレ整備推進事業
  - ④ 農村災害対策整備事業辰野竜東たつの海工区ため池工事
  - ⑤ 荒神山公園ゴムチップ舗装工事
- 以上の事業について、適切に竣工していることを確認しました。

### 委員会研修

「町の道路行政と産業振興について」と題して研修会

7月17日委員全員の参加のもと担当課長から町の現状について説明を受けました。

#### (1) 道路行政について

- ① 町の道路現況
- ② 事業箇所及び課題点
- ③ 各路線整備推進団体名など

④ 辰野町の都市計画道路は計画されたのが50年前なので、様々な方面からの道路計画の前提となる条件が変化しているため都市計画道路の在り方や、事業の実現性など総合的に見直しを行っていかるとのことです。

#### (2) 産業振興について

現状把握をするために、商工会工業部と歩調をあわせ、「名古屋メッセ」工業展に私たち委員も出向き研修を行なう予定です。

委員会審査から

# 福祉教育 常任委員会

● 決算審査 ● 議員発議意見書  
● 現場審査



現場審査 十一面観音収蔵庫

9月10日・11日、委員全員が出席し、町長、副町長出席のもと、担当課長、担当職員に詳細な説明を求め慎重に審査を行い、全議案を全員一致で認定すべきとしました。

## 一般会計決算審査

### 歳出

#### ■民生費

介護予防事業では万五郎介護予防空問事業、上島いきいき交流センター整備事業、前年度繰り越し事業として、中央高畑いきいき交流センター、あさひ世代間交流施設等多くの事業が施行されました。その他主なものは施設指定管理委託料、24時間電話

健康相談事務委託料、大萱の里建設負担金、上伊那圏域障がい者総合支援センター負担金、難病患者福祉手当、灯油購入券、福祉タクシー等の補助費です。

**問** 24時間電話健康相談事業について活用状況は。

**答** 318件の身体、病気、育児等相談が寄せられており成果に繋がっている。

**問** 子育て世帯臨時特別給付金の給付状況は。

**答** 2,267人に1万円が給付された。

**問** 児童手当費給付状況は。

**答** 延べ28,516人が該当し、3歳未満15,000円、3歳から中学生までが1万円。第3子からは15,000円支給された。

**問** 26年度園児数は。

**答** 530人で年々微減の状態でだが未満児が26年度大幅に増加しており、母親の早期就業の増加がみられる。

**問** 病児・病後児保育を町独自にできないか。

**答** 上伊那医療生協いちごハウスに委託している。辰野町の利用者は年間54人で1日当たり0.2人となり辰野町独自の運営は非常に厳しい。

**問** 保育園臨時職員の正規化は。

**答** 保育園職員数は正規職員50人に対し臨時職員67人と半数以上を占めている。経費面等により正規化は難しい状態だが、試験等により正規化の門戸は開かれている。

**問** 奉仕団員数・構成は。

**答** 日赤奉仕団は現在8分区分299人で編成されており、地域によつては団員確保が難しくなっている。

**意見** 他町村で見られるような、男性団員の受け入れも今後検討すべき。

**問** 老人保護措置事業の実

態は。

**答** 養護老人入所措置費として「みずす夢ゆりの里」7人、「南箕輪老人ホーム」5人等14人が該当し、扶助費を負担している。

**■衛生費**

予防費として結核検診、肺炎球菌ワクチン接種ほかの予防接種費委託料、環境衛生費として太陽光発電システム設置補助、診療事業費として町立辰野病院運営補助金、旧辰野病院解体工事負担金及び繰出金、両小野国保診療所負担金、福寿苑への繰出金などが主なもので、大幅な歳出増となつていきます。

**問** 補助金支給状況は。

**答** 生ごみ処理器設置補助金は、2万円上限で27件だったが、太陽光発電システム設置補助金は13件で前年度に比べ大幅に減少した。清掃費の塵芥処理事業における厨芥ごみ再生処理は長年モデル事業として行ってきたが、拡大が望めない現状であり、再考

の時期と思われる。

#### ■教育費

町内4小学校と中学校に係わる費用のほか、社会教育、公民館・分館、子育て支援、美術館、埋蔵文化財発掘等、多岐にわたり支出されています。

**意見** 荒神山公園のつつじ開花が非常に悪く専門家の技術指導が必要ではないか。

## 特別会計決算審査

#### ■国民健康保険特別会計

国保会計は高齢者や低所得者の占める割合が高いなか、医療の高度化による医療費の増加などにより、厳しい財政運営を強いられています。平成26年度は歳出増加のなか、国庫支出金や療養給付金の増額により赤字となり、支払準備基金約3,000万円積立を行い8,932万円の基金残高となりました。国保財政の基盤強化を図るため、平成30年度から都道府県が国保の

財政運営の主体となります。

**問** 予防医療の実態は。

**答** 平成26年度人間ドック申請者は日帰り、泊まり、脳ドック合計1,455人と増加しており、早期発見に寄与している。

■国保診療所特別会計

**問** 第一診療所、川島診療所の現状は。

**答** 第一診療所は週2日の診療で患者数は延べ年間416人の104人減、川島診療所は週1日の診療で延べ274人の20人減となっている。患者減少のなか、担当医師、看護師の献身的な努力により継続しているのが現状。医師の高齢化、看護師の継続確保の課題を抱えており、平成27年度に3回の住民説明会を開催する。今後住民アンケートを行い、あり方についての方向付けをする。

**問** 財政状況は。

**答** 国保会計から繰入れを行い収支対応している。

■後期高齢者医療特別会計

平成20年4月から創設され、市町村は保険料を徴収し、負担金として後期高齢者医療広域連合へ納付するもので、収納率は現年度分99.6%です。

■辰野病院事業会計

8科7人の医師体制で運営されました。旧病院解体に伴う資産減耗費と工事請負費等の費用発生により大きな赤字決算となっています。

**問** 診療収入は。

**答** 外来は患者数が1,701人減つたものの収入増、入院は677人減少し収入減となっている。

**問** 資本的収入および支出は。

**答** 収支不足する額4億7,175万円は損益勘定留保資金等で補てんしている。

**問** 給与費が前年に比べて大幅に増となっているが原因は。

**答** 福寿苑からの介護士8人の移動によるもので、地域包括ケア病床20床に充て、稼働

率向上に努めている。

**問** 透析医療は堅調だが、夜間稼働体制拡大の可能性は。

**答** 現在の医師体制では困難であり、消毒準備上でも難しい。

**問** 患者の減少の要因は。

**答** 整形外科医退任によるもので、入院が減っている要因にも繋がっている。

**問** 若い医師が研修できる魅力のある病院を目指す考えはないか。

**答** 指導するドクターが必要であり上伊那圏での連携も厳しい状況。

**問** 国の施策として入院病床の削減が進められているがその対応は。

**答** 病床稼働率70%死守が最低条件で、現状80%がぎりぎりであり稼働率を上げる方法を検討したい。平成26年12月公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価審査を受審し、本年度認定を受けることができた。今後より一層の経営改善に努める。

■介護老人保健施設

(福寿苑) 特別会計

福寿苑は平成26年8月に閉苑となり、本特別会計は平成27年3月末をもって廃止となりました。

平成33年度まで長期債元金、利子の償還が継続されるため今後の施設活用について検討が必要です。

■介護保険特別会計

訪問介護などの在宅サービスや介護老人福祉施設などへの入所サービス利用件数は25,789件と4.6%増となりました。介護予防事業は町内17地区で行われ地域の取組みを主眼に2次介護予防対象者への訪問、通所の介護予防、家族介護支援事業を実施しています。

4億4,044万8,213円を減額し、欠損金を0にするものです。

欠損解消に向け歳入増加施策即ち医師確保、患者確保、病床稼働率向上等の今後の活動を条件に、委員全員一致で可とすべきと決しました。

●決算に係る現場審査

①上島いきいき交流センター

木造平屋

事業費3,204万円

②十一面観音収蔵庫改修工事

精算額399万円

③東小学校玄関棟改修工事

鉄筋コンクリート平屋建

玄関棟・渡り廊下

事業費4,753万円

④あさひ世代間交流施設

木造平屋建

事業費3,665万円

⑤町民会館舞台吊り物改修工

事他

事業費 1,469万円

以上5事業について9月14日現地視察し適切に竣工していることを確認しました。

●辰野病院事業会計  
資本金の額の減少について

平成26年度町辰野病院事業会計の、自己資本金9億3,332万6,212円のうち

### 町長への要望事項

#### 1. 診療所の今後について

第一診療所、川島診療所は医師、看護師の頑張りにより住民の健康維持に大きく寄与しているが、現在の状況は厳しい、診療所の今後の運用について町の考えを明確にすることを要望する。

#### 2. 旧福寿苑の有効活用

耐震基準を満足している施設であり、起債残の償還と今後の有効活用に向けた方策を早急に検討すること。

#### 答弁

第一、川島診療所での患者数の減少は続いており、経営的にも大変厳しい。また、全国的にも医師、看護師、等の充足が非常に厳しいという現状から、他の手段の検討もしながら、地域医療を進めていきたい。

旧福寿苑の今後の有効活用について、起債残が2億円余あることも踏まえつつ、要望に沿って検討を進めます。

### 議員発議の意見書について

#### 「国民健康保険国庫負担金の調整（減額）措置の廃止を求める意見書」

「国民健康保険国庫負担金の調整（減額）措置の廃止を求める意見書」

趣旨 我が国の出生率は年々低下し、少子化の進行は人口減に繋がっています。現在子ども医療費の助成については、一日窓口で医療費を支払う償還払い方式のなかから「自動給付方式」を採用し、受給者の負担軽減を図っています。「現物給付方式」は窓口での支払いが不要となり、要望の多い方式です。ところが、国は窓口無料化実施市町村に対して、国民健康保険国庫負担金の調整規定（即ち減額措置）などの負担増を課しているため、自治体は実施に踏み切れない状況であり、この措置の廃止を求めるものです。

委員会では、この意見書を国会宛に提出すべきと全員一致で決しました。

### 視察研修レポート

8月5日委員全員参加のもと、障がい者支援事業所を視察研修しました。

①辰野町就労支援センター工房ぬくもり（就労継続支援B型※1）・辰野町地域活動支援センター（ともに長野県社会福祉事業団）を訪問。



辰野町就労支援センターの様子

工房ぬくもりでは、現在定員20人に対し、25人が利用し、カメラ部品マスキング作業等の軽作業班（利用者17人）、うどん・ラーメン生麺製造販売の製麺班（利用者7人）、移動販売車「ぬくもり号」によるうどん・ラーメンの調理・販売する移動販売車班（利用者7人）の3班に分かれて就労

しています。軽作業は地域活動支援センターと共用スペースで活動しており、移転等検討しているとのこと。

辰野町地域活動支援センターでは、辰野町在住の方の活動の場として定員20人に対して、16人が利用しています。ボランティアセンターでの手話ダンスなど地域との交流や、ぼかし作り等の作業活動を行っています。

町内に2カ所あるグループホーム※2（北大出庄屋・平出ホーム）は、利用者の高齢化・重度化、建物の老朽化等があり、今後の在り方を検討しているとのこと。

②就労継続支援B型（2棟）グループホーム（7棟）等を上伊那圏内で運営する、社会福祉法人アンサンプル会（伊那市西箕輪）を訪問。

地域の中で安心して生きていけるように生活全般にわたってサポートをしています。生活していける収入を得るための商品開発等も考える中、地域に窓を開けていこう



アンサンプル会 木作業所

と「アンサンプル伊那カフェ」も運営しています。

現在利用者満員で、養護学校を卒業後、利用希望している全ての子どもの受け入れられない状況にあり苦慮しているようです。

《課題》現在、辰野町や上伊那圏内での就労施設やグループホーム利用への要望が多い中、施設は不足しています。早急な施設整備が必要だと感じました。

※1 就労継続支援B型 雇用契約を結ばず就労訓練をしながら工賃を貰い働く場 ※2 グループホーム 知的・精神障がい者等が支援を受けながら、地域で生活する居住の場



一般質問

老朽化が進み改修が急務、取壊しを考える施設数は

町長 数は未定であるが、いろいろ考え管理計画を策定していく



成瀬 恵津子 議員

問 町の公共施設で、大規模改修を目安とする築30年以上の施設数は。  
町長 町の施設183施設、そのうち築30年以上は78施設ある。  
問 老朽化が進み改修が急務、取壊しを考えていかなければならぬ施設数は。  
町長 数は未定である

が、いろいろ考えて管理計画を策定していかなければいけない。

問 「固定資産台帳」の見直し整備の進め方と今後のスケジュールは。  
課長 公会計制度と連動した台帳の整備を進めている。従来の固定資産台帳は、土地、面積、建物の構造を主として管理してきたが、今回は、取得価格、改修費用、減価償却を管理する台帳として整備している。また、複式簿記に相当する会計に移行する準備業務を外部に委託し、今年度中に完了予定。

問 「公共施設等総合管理計画」の策定計画の進め方と町の考えは。  
課長 公共施設の老朽化が喫緊の課題となっている中、固定資産台帳の整備と並行して策定に着手し、28年度に終了したい。

問 策定計画を進めるに町民アンケートの考えは。  
課長 策定計画を進める中で必要と考えるならば、アンケートの実施を考えていく。

問 文科省の再度見直し報告通知に対しての町の報告内容は。  
教育長 町内小中学校6校のうち5校で7件のいじめの報告。初期段階で解決。

問 自殺した生徒（他県）を救えなかった事について、町の考えは。  
教育長 担任が一人で抱え込んでしまうのも原因ではないか。

問 いじめが原因で不登校の生徒はいるか。  
教育長 いじめでの不登校はいない。

問 「辰野町総合教育会議」の内容は。  
教育長 町長・教育委員会、いじめ等直面している教育課題について協議していく。

いじめに対する町の取組み

一般質問

町内開業医確保のために開業資金の貸付け・給付制度を

町長 医師（開業医）の確保に向けた対策を取っていききたい



向山 光 議員

地方公営企業の基本理念と病院運営について

問 病院等の公営企業は公共の福祉を増進するように運営することを目指すか。  
町長 地方公営企業の基本原則はまさにその通り。経済性と公共性の均衡の上に経営が成り立つ。施設の老朽化と人口減少による料金収入減等があり厳しいなか、舵取りをしていきたい。

問 地域医療構想と新公立病院改革プランへの対応は。  
事務長 県内で三千床位の削減予測。厳しい

目標設定が求められるので、職員も危機感を持って職務に取り組んでいきたい。

問 町内開業医の高齢化と後継者不足が深刻であり、開業資金の貸付け・給付制度を。  
町長 開業医確保に向けた対策を取りたい。

子育て支援について  
問 子育て支援センターの「町の保健室」の課題は。  
教育長 子育ての悩み等何でも相談できる。口コミ等で広まっているが、本当に相談したい人へ伝わるよう、皆で育てて欲しい。

でいる。イメージアップ等の利点があれば認定申請したい。

問 老朽化・交通安全の課題がある平出保育園の整備計画は。  
課長 町全体の園児の状況等を考慮して、地域と協議したい。

有賀峠の大規模太陽光発電計画について  
問 諏訪地籍の旧ゴルフ場を大規模太陽光発電施設へ転用する計画への町の対応は。  
課長 平出区・上野地区とともに業者との協議に同席した。今後も、光害・健康障害・防災面から見守っていく。



老朽化・交通安全が課題の平出保育園



一般質問

### 選挙権 18 歳に即した、「主権者教育」は

政治的中立性を確保し、充実強化に取り組む  
教育長



篠平 良平 議員

**問** 選挙権 18 歳引き下げに伴う新たな有権者数と全体比率は。

**課長** 18 歳が 143 人で全体の 0・92%、19 歳が 155 人で 0・86%程度と予想している。

**問** 投票率向上の施策は。

**選挙管理委員長** 投票率低下は町内でも顕著。若い世代向けの啓発は

成人式会場でも行っている。18 歳に引き下げられたので豊南短期大学、辰野高校にも啓発範囲を広げていく。

**問** 主権者教育にどう取り組むか。

**教育長** 高校だけでなく義務教育段階から実践的な参加活動として、生徒会や総合的な学習の時間やボランティア活動等を通じて、実社会への参加意識の高揚、自立した判断力等を育成していく教育活動を展開している。

**問** 教育基本法に「法律に定める学校は、特定の政党を支持し、これに反対する為の政治教育、政治活動をしてはならない」とある。この定めが主権者教育を制限する根拠とされているが、教育現場ではどう考えるか。

**教育長** 具体的な政治課題について授業等で行う場合、どうしても主義主張が出るので

十分配慮しなければならない。教育を司る者として確固たる信念を持って、政治的中立の立場で行かなければならないと思う。

**問** マイナンバー制度の町民や企業への周知徹底は。

**課長** 町民には「広報たつの」5月号から毎回掲載している。総合窓口にて政府広報のパンフレットを置き配布している。企業への説明は商工会で会員対象に行っている。

**問** サイバーセキュリティ対策は万全か。

**課長** マイナンバーのネットワークでは外部からのメールは遮断されている。情報系ネットワーク上でウイルスに感染しても、マイナンバー系ネットワークへは影響が出ない構成になっている。国の指示に基づき専用のサーバー機器の導入等セキュリティ強化を図っている。

一般質問

### 歳入の自主財源比率を高めるには

町長 固定資産税の減少化に歯止めが必要



熊谷 久司 議員

**問** 直近の5年間の町の自主財源比率を見てみると、およそ42%で安定しているが、その中の町税の比率は減少傾向にある。特に固定資産税は、この5年間で約14億円から12億円に減少している。自主財源比率を高める施策はあるか。

**課長** 宅地価格の下落率だが県内の平均がマイナス2.1%に対し、辰野町はマイナス4.3%だ。隣町と比較しても地価が以前と逆転してきている。宅地流通の活性化を図りたい。

きそうな35戸の所有者にダイレクトメールを送ったところ、10戸の売却・貸出希望者があったので空き家バンクへの登録を勧めている。

**南小学校の改修について**

**問** 南小は、教室の雨漏りに悩まされているが改修の計画はあるか。

**課長** 体育館の外壁など危険な箇所は、来年度優先的に改修を行う。雨漏りについて、応急処置は行いが、抜本的改修は数年後の長寿命化事業で対応する。

**空き家バンクについて**

**問** 空き家バンク制度がスタートして半年経過したが、運用状況は。

**課長** 改修補助金、家財搬出補助金を各1名が受けた。また移住者も1名受け入れた。

**問** 登録件数の増加策はあるか。

**課長** 空き家対策特別措置法が全面施行され所有者の意思を確認し易くなった。利活用で

**消火栓について**

**問** 最近発生した住宅火災では、地元住民による消火栓での初期消火が大変効果的であった。町内の消火栓配備状況はどうか。

**課長** 消防法に則り消火対象物から直径100メートルから140メートルに1基、町内全域で808基を配備している。

**辰野病院の**

**医師確保について**

**問** 医師が気持ちよく勤務でき、経済面の待遇がよく、町民から大切にされる。そんな環境を用意できないか。

**事務長** 今年5月に着任した医師は、新しく広々として働き易い病院だと言っている。

一般質問

少子化に対応した小・中学校の適正規模・適正配置を検討する審議会等の設置の考えはあるか

教育長 審議会等を設置し、検討をしていく必要があると思う



小澤 睦美 議員

川島小学校の児童生徒の現状について

問 川島小学校の一年生の児童数は1〜2人。日常的に大勢の友達と楽しく学べる環境づくりが必要だと思うが、教育委員会で検討したことがあるか。

教育長 教育委員会の定例会で2回協議し、総合教育会議でも議論している。秘密会であるので、内容については、差し控えたい。

少子化に対応した小・中学校の適正規模・適正配置について

問 現在、辰野町の小

学校のなかで、長野県教育委員会の指針にいう「子どもの教育環境の質を保障出来る規模」、「学年に複数の学級があり、少なくとも学年で20人程度を確保できる規模の学校」に当てはまらないのは、南小学校と川島小学校である。子どもたちのために、早急に、指針に基づいた、小・中学校の適正規模・適正配置について審議会等を設置し、検討を始めるべきと思うが、そのような考えはあるか。

教育長 辰野町にあった学校の適正規模・適正配置を検討していく必要があると思っております。場合によっては、審議会も検討していく必要があると思つ。



川島 クラインガルテン

「よりあい会議」の優先的な取り組みについて

問 第五次総合計画後期基本計画「地域計画」の中で、川島区の優先的な取り組みとして「川島小学校を核とした子育て世代に魅力ある地域づくり」がある。他区には具体的な固有有名詞はない。なぜ川島区だけあるのか。むしろ、かやぶきの館を核とした観光振興を望むが。

課長 「よりあい会議」での意見を踏まえて、あくまでも住民の思いを反映させるもので、行政の意図はない。区へ確認後作成したが、会議で、統合という意見もあった。まだ、訂正できるので、区内で検討してほしい。

一般質問

来年も予算規模・期間等、今年同様にほたる祭りを行うか

町長 来年も同じ様にやりたい



垣内 彰 議員

ほたる祭りについて

問 加島町長の感想は。町長 皆様方のご協力で心に残る、いいほたる祭りができたと思う。

問 「すく出し！知恵出し！おもてなし宣言」の目的・意図は。

町長 祭りに係る皆さんの行動が、おもてなしに繋がっていると意識することで、ほた

る祭りに参加する動機となる。

問 祭りを企画する部局はどこか。

課長 祭りの企画会議である。

問 企画会議のメンバーの中でイベント企画の経験者はいるか。

課長 現在の企画会議の中ではそうした専門性を持った方は居ない。

問 担当課長がチーフプロデューサーとなるべきである。

町長 この前の一般質問の時も町が主体的、主導的になるのでは「町民の祭り」という今のほたる祭りの良さが消えてしまうと説明した。来年も同じ様にやりたい。

問 前年踏襲を繰り返して肥大化し、現在の組織では抱えなくなってきたのではないかと、誰かが勇気を持って規模を縮小するべき時に来ている。

町長 全部を一度に植え替えることは考えていない。地元区や見守り隊の皆さんと相談しながら実施する。

問 植え替えるとなると歩道・舗装の切り欠き等工事が必要になる。町が今後こうするとい

う方針を示して欲しい。

町長 全部を一度に植え替えることは考えていない。地元区や見守り隊の皆さんと相談しながら実施する。

町長 マニユアルは無い。H23年度からはメ

ンター制度により新人教育を行っている。

町長 マニユアルは無い。H23年度からはメ

ンター制度により新人教育を行っている。

人事について

問 職員のスキル向上のため、OJT（計画的人材育成制度）などの仕組みはあるか。

課長 マニユアルは無い。H23年度からはメ



城前桜並木について

問 町としてどう植え替えや世代交代をさせるか。

課長 全部を一度に植え替えることは考えていない。地元区や見守り隊の皆さんと相談しながら実施する。

町長 マニユアルは無い。H23年度からはメ

一般質問

広く平和都市宣言を伝え  
平和事業・平和教育の充  
実を

町長 宣言を広め、引き続き平和  
事業を行っていく



瀬戸 純 議員

**問** 戦後70年の今年、国会では武器を持ち戦争のできる法案が審議されている。当町では昭和59年に「平和都市宣言」を行っているが、内容を多くの町民が知られない。広く宣言を届けられる様広報についての考えは。

**課長** 役場前に宣言は掲示してあるが、広報

10月号へ掲載及び町ホームページへの掲載を準備している。

**問** 平和事業内容・予算及び平和教育、今年度の特別な事業は。

**課長** 8月6・9・15日は広報を流し、原水爆禁止国民平和行進や反核平和の火リレーを激励、平和首長会議に参画。予算は1万7千円程度。今年度の特別な事業はない。

**教育長** 教育が果たした先の戦争に対する責任がある「過去の教訓に学び、平和の尊さを伝える」を念頭に、教科以外にも7・8月に平和学習を行っている。

**問** 平和事業の充実を要望する中で、平和行政の基本原則や平和事業推進について定める条例の制定の考えは。

**課長** 現時点では考えていない。

**障がい者支援について**  
**問** 障がい者は合併症になりやすく、医療費

がかかる。中でも精神保健福祉手帳所有者について入院費の給付がされていない。支援の違いをつくらない給付についての考えは。

**課長** 県の動向を見ながら検討していきたい。

**問** 現在、県・国で子どもの医療費窓口無料が検討されている。福祉医療費の窓口無料として障がい者を区別せず、福祉医療費窓口無料及び国庫負担金の減額措置廃止の声を県・国へ届けてほしい。

**町長** 機会があれば届けて行きたい。

**問** 現在ある就労支援施設及びグループホームでは、定員満員で養護学校を卒業してから行く場所がない等、待たなしの現状との声を聞く。早急な整備を要望する。今後の施設整備の計画は。

**課長** 新たな事業所設置や展開の事業者に働きかけて行く。

一般質問

町長 利用拡大を関係先と共に取り組みたい

飯田線の活性化策は



宇治 徳庚 議員

**問** 町から見た地域に於ける鉄道の果たす今日的役割と現状認識は。

**町長** 民営化により厳しさを実感するが、ローカル線で大切なのは通勤・通学の足として、また公共交通しかり利用できる。住民にとっては、なくてはならない移動手段である。鉄道の有無は地域のイメージを形づくるもので、かつては首都圏を結ぶ唯一のものだったが、車社会の進展で利用者が減少し鉄道の存続に影響が及んでいる。いかに利用拡大を図るかは町の課題でもある。

考える。

**問** 町内エリア6駅の現状と課題は。

**課長** 辰野駅の日利用者551人(うち定期券利用者62%)。川島駅は概ね10人、無人化は昭和46年、トイレは今年取り壊しの申入れがある。小野駅は160人(80%)で平成2年に業務委託化、トイレは平成17年に譲渡され町所有である。宮木駅は555人(90%)無人化時期は、飯田線3駅ともJR東海としてハッキリ把握できていないとのこと。トイレは今年廃止要請を受けており地元と検討中。新町駅は74人(84%)トイレなし。羽場駅は162人(79%)で、町所有のトイレがある。

**問** ほたる祭りでの辰野駅の利用客の実態は。

**課長** 今年は約5,400人(前年比9.3%増)で観望客に占める割合は約5%である。

**問** 辰野線・飯田線の課題と活性化策は。

**課長** 昨年辰野駅北側を業者に委託してパークアンドライド駐車場(マイカーから公共交通に乗り替えること)を整備した。昨年は一日平均13台(39台可)が、現在は19台であり、今後も利用促進を広報等でPRして行く。

**問** 辰野駅・小野駅が来年開業110周年を迎えるが、一体的なイベントはできないか。また、辰野・岡谷・塩尻を循環するイベントは。

**課長** 開業イベントはほたる祭りと一体で考えたい。循環イベントについても関係先と協議検討して行きたい。

一般質問

水道水クリプト対策および設備設置費用補助の考えは

町長 安心安全な水道水確保に向け、小規模水道用浄化設備の設置を計画し、費用補助を実施したい



堀内 武男 議員

問 水道水源でのクリプト汚染状況は。

課長 過去に水道原水の検査において4例検出されている。

問 上水道における発生の可能性と対策は。

課長 地下水以外の上水道で発生の可能性があり、9か所中未処置水源は3か所ある。重要課題として今後浄水処理方法を選択し、水道ビジョンに基づき計画的に対策を進めたい。

問 汚染発生時の緊急対応と、設備検討および費用補助の考えは。

町長 初期給水車やタンクで対応し、ユニッ

ト型膜ろ過装置をレンタルする考え。小規模水源は一体型浄水器を水源状況と合わせて選択設置し、費用は浄水設備を町、建屋などは地元負担としたい。また小横川地区の浄水設備設置は地元と調整し、事業化を推進したい。

問 小規模水源の上水への統合の考えは。

町長 浄水設備の全水源への設置は費用・維持管理上非効率のため、段階的に運営移行し、水源統合を目指したい。

いじめ・自殺防止は

家庭教育が大切

問 辰野町総合教育会議の役割は。

町長 国の教育行政改

革に基づき設置され、教育の目標や教育行政の方針を定め、町の教育課題を協議する会議であり、町長と教育委員会とで構成される。

問 辰野町教育大綱の重点施策は。

教育長 辰野町第五次総合計画の「学びあいと育てあいのまちづくり」を基本に家庭教育、学校教育等、6項目を定めている。

問 辰野町いじめ防止等のための基本方針は。

教育長 いじめを絶対許さない、命の大切さを根底に2項目で策定。

問 いじめ防止に対する家庭教育への提言は。

教育長 家庭においてたくさんの愛情を受けながら基本的なしつけを教えられ、様々な体験を通して驚きや感動を味わえば子どもは健全に成長する。家庭教育の土台の上に、学校教育が乗るものと考え

る。我が子にうんと関わっていたきたい。

一般質問

観光事業の取組み強化で、元気なまちづくりを推進してはどうか

町長 町が事業主体で取り組むのは難しいと思う。にぎわいの町づくりには、民間から提案いただき、観光協会に主体的に考えてもらいたい



中谷 道文 議員

問 観光事業の強化策について、コンサルタントを入れて検討してみているかどうか。

町長 観光協会や観光審議会を中心に検討を深めていきたい。

問 情報センターパルティスを観光センター化し案内所、情報発信基地やみやげ品、町の特産品、特色在る農産物の直売所等設け、観光センターとしては。

課長 現状の要員のうちでは分室化するので無理、観光センター化は経営がついて回るのハードルが高い。

問 新たな姉妹都市構想を展開し、観光の推進や交流人口の増加等図れ、人の流れを創出できると思われるが町の考えは。

課長 観光協会からも提案されており、提携可能な所や、きっかけがあれば検討したい。

問 観光コースの設定や(一泊二日)ほたる祭りの昼間の観光や宿泊対策等の検討は。

課長 多くの方より提案されており、提案できる様検討中。

問 観光事業は、近隣市町村との連携強化が重要と考えるが、どの様な展開状況か。

課長 上伊那北部観光連盟や上伊那広域での取組みが進み行事やパノフの発行等活発に展開している。諏訪塩尻関係については、塩嶺王城推進協議会でマラソン大会やパンフ作成等取り組んでいる。新しい取組みとして群馬県富岡製糸の世界遺産化でシルク関係協議会等発足しつつある。

問 新たな観光資源の発掘を・と題し、多くの町民の声や提案を申し上げる。

○飯田線の観光資源化  
○塩嶺王城スカイライオンを王城山山頂まで  
○町花福寿草の増殖を  
○林道西山線や太田林道の観光資源化  
○天竜川右岸(城前橋新樋橋間)桜並木を  
○大型遊具を荒神山公園、童謡公園に  
○たつの海に釣り堀を  
○道の駅を町内に  
○ふるさと納税返礼に宿泊券を等種々提案

課長 実現性の高いものについては、検討を進めたい。

一般質問

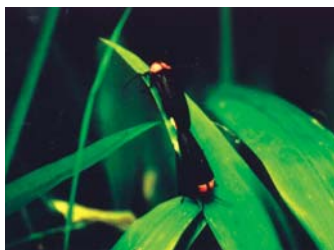
町の最大の観光資源であるホテルの減少についての対策として専門の担当者を置く考えはないか



山寺 はる美 議員

町長 中心になってホテルを守ってくれる人を置くことは重要な課題ととらえている

問 町のシンボルであるホテルが、ここ数年減少の一途であるが、町は何か対策を考えているか。  
課長 水辺の環境を整えるため26年度から植栽の研究と、カワニナが増殖しやすいように水路の除草などをして



ホテルの増加に力を

公園の入場料収入と、その使途は。  
課長 今年のホテル保護育成協力金は910万8,320円。その使途は27年度の一般会計にほたる童謡公園の使用料として入れ、支出はほたる童謡公園管理事業として使用し、残りを基金に入れる。  
問 26年度の基金の積立金は基金の利息の10,686円だけ。公園の管理料として全部使用してしまうのではなく、ホテルを安定的に発生させる調査研究に、ホテル保護育成協力金は使用してもらいたい。  
課長 できるだけホテル基金にまわしたい

が、一般財源も厳しい。来年度の予算編成の中でまちづくり政策課と検討したい。  
シカ肉等を特産品に  
問 野生鳥獣のシカ肉等を町の特産品に活用できないか。  
課長 昨年青年会議所の発案でジビエ料理の講習会と試食会を3回行って、大変好評でした。その後、町内3店舗でジビエ料理の食べ歩きを定員20名で行ない、ジビエの肉の関心と需要があることが分かった。  
問 シカ肉を製品にするまでにはいくつものハードルがあるが。  
課長 今年はジビエの解体所ができないか、町の猟友会の人達にも相談して調査研究している。民間でシカ肉を特産品にと考えている方がいるので、インタビューシップを利用して行政もできるだけ応援して、軌道にのせたい。

第8回 議会報告会

平成27年11月13日(金)

午後6時30分から午後8時まで

場所 役場第6会議室

報告内容 6月、9月議会の内容

常任委員会活動

議会広報活動など

意見交換テーマ

- ・辰野町の産業・観光について
- ・地域医療について

※ 意見交換は、2会場にて分科会形式でおこないます。



ぜひ、おでかけください。

町民の声

小野 倉沢 忠夫

「議会だより」は有意義な冊子だと思います。今回 No. 58 を拝読のところ、末尾の「町民の声」に共感し、別の角度からですが、「町議会への疑義」を提示します。

「議会だより」によると、「平和都市宣言」に反する集团的自衛権の行使にもとづく安保関連法案に反対の決議を求める陳情について、総務産業常任委員会の審議結果では、賛成4、反対2で採択に決した、との記述です。にもかかわらず、本会議では賛成13、反対0で可決は、一貫性に欠けるのではないのでしょうか。委員会で反対票を投じた議員名を明示すべきと思われるます。



# 議員視察研修

埼玉県 三芳町

議会運営や自治体運営に  
関して議員資質の向上を図  
るため7月21・22日首都圏  
から30kmの距離にあり、埼玉  
県の南西部に位置する三芳町  
で、議会改革と、農業振興へ  
の取組みについて、また、長  
野県が運営する東京のアンテ  
ナシヨップ「銀座NAGANO  
O」の運営実態と辰野町とし  
ての活用方向について研修を  
行いました。

三芳町議会は、議員数15  
人、議会運営委員会の他に、  
総務・厚生文教・議会広報広  
聴の3常任委員会と予算決算  
等の特別委員会が構成されて  
います。また、会派制を取っ  
ています。そのような中で、  
議会改革については、平成19  
年から他の自治体議会を視察  
しながら議会活性化、基本条  
例・政治倫理条例の制定等に  
ついて検討を始め、平成21年  
には議会改革特別委員会を設  
置。委員会において本格的な

取組みを進め、改革は現在も  
進行中ということでした。そ  
の中で、議会の活性化の取組  
みとしては、日曜議会や夜間  
議会の開催、議会報告会は、  
4月に予算についてを、また、  
町内2箇所で開催が2班に分  
かれて懇談を実施。他に「ふ  
れあい座談会」という名称で  
特定の課題を設けて住民との  
意見交換会を行っているとの  
ことでした。

議員活動の原則である議会  
での自由討議、また議員とし  
ての基本的な活動原則及び倫  
理基準を定めた議会基本条例  
や、議員と町民の責務を明確  
化した政治倫理条例について  
も、町民の意見を参考にしな  
がらよりよい議会運営に努め  
ているとのことでした。

今後辰野町議会として、研  
修結果を踏まえ、町民の皆さ  
んの声を町政に反映していく  
議会運営の必要性を感じまし  
た。

農業振興の取組みでは、  
「三富新田」の循環型農法に  
ついて視察を行いました。こ

の「三富地区」というのは、  
三芳町と所沢市にまたがる総  
面積が1400haの三つの地  
区の総称です。



雑木林からの落ち葉堆肥

三富の中でも三芳町の上富  
地区は、中央に走るケヤキ並  
木沿いに屋敷が並び、一軒分  
5haに地割りされた耕地と平  
地林は、今でも江戸時代の面  
影を色濃く残しています。こ  
の平地林には、ナラ・エゴな  
どが育てられ、堆肥の供給源  
となりました。この畑で育つ  
た農作物（特に「富の川越い  
も」サツマイモ）の恵み（収  
益等）により再び雑木林を管  
理する、このような循環型農  
法が、ここでは、320年以  
上続いています。また、これ

からも農業を続けていくため  
に、農業の6次産業化にも取  
組んでいるということです。

これらの取組みが世界農業  
遺産の候補にもなりました。

銀座NAGANOは、銀座  
5丁目すずらん通りにあり、  
4階建てのビルの1・2・4階  
を県が借りているということ  
でした。1階は信州を代表す  
る食材や伝統食、ワイン・日  
本酒等を販売するシヨップス  
ペース&旬の信州味わいコー  
ナー。2階はイベントスペー  
ス&観光インフォメーション  
コーナー。ここでは毎日イベ  
ントが開催され、この日は昼  
間そば打ち体験があり、満員  
の状況でした。4階はコワー  
キングスペース&移住交流・  
就職相談コーナーとなってお  
り、企業の商談や在京学生の  
就職相談などに対応できる場  
所となつています。各コーナ  
ーとも評判は上々とのことだ  
し、信州の魅力を発信するに  
は、銀座のしゃれた雰囲気も  
なかなかマッチしているの  
ではないかと思われました。

# 編集後記

広報副委員長 向山 光

新しい広報委員会での2回  
目の議会だよりです。

正確さが一番ですが、より  
一層「見よ読みよ、親し  
みやすい」広報を目指してい  
ますが、いかがでしょうか。  
「やわらかくなった」「読みや  
すくなった」との声をいただ  
いています。

限られた紙面ですが、さら  
に工夫して編集に取り組みた  
いと思います。

安全保障関連法案を巡って  
は、国民レベルでも賛否様々  
な議論・運動がありました。  
政治に国民の眼が向いたこと  
は、大変重要な事です。これ  
を一過性にせず、常に政治に  
関心を持ち、参加することが  
何より大切だと思います。

